

技術力・提案力で地域の工務店を支援するプレカット工場として、組合員とともに、天竜地域の林業・木材業の振興に取り組む。



多彩なプレカット加工機が並ぶ工場

どんな事業をされていますか？

当組合は「天竜材の価値を高め、需要を拡大させ、地域の林業・木材業の振興を図る」ことを目的として、1984年に設立された。天竜地区・春野地区の森林組合、木材流通業者、製材工場などが組合員として加入し、運営を支えており、県内のプレカット工場のさきがけとして、現在まで堅調な事業経営を続けている。組合員からのプレカット加工の受注を主業としており、メインは在来軸組工法プレカットとなるが、金物工法プレカットにも対応している。職員は総勢23名で、うち設計7名、工場13名、事務所3名となっている。



下見板張りの外壁仕上げの事務所棟



加工前の材(手前)と加工後の材(奥)



高度な加工を実現する5軸加工機

事業の特長や強みは何ですか？

設計図面を知り尽くしたスタッフによる加工データの作成、高度な加工を正確にこなす5軸加工機、社員大工による手刻みのフォローと、ソフト(人)とハード(機械)が一体となり、高い技術力でプレカット加工における幅広いニーズに対応することができる。顧客からも、難しい加工になればなるほど、当組合に依頼してよかったとの声上がる。プレカット工場では、手間のかかる特殊な加工を敬遠する傾向があるが、当工場では設計部門に建築士の資格保有者や現場経験豊富な技術者がおり、設計図面に沿った通り一遍の加工データの作成ではなく、安全性やコスト面から設計図面の改善提案を積極的に行うことができる。この技術力・提案力を活かして特殊加工に対応することで、顧客からの信頼を得ている。

代表的な製品、サービス、設備などは？

在来軸組工法のプレカット材がメインとなる製品であり、その内、天竜材が3割ほど占めている。また、代表的なサービスとしては、組合員の営業力強化を目的とした組合員支援のセミナーがあげられる。これは主に若い社員を対象に、プレカットについての知識の習得や顧客のニーズを引き出すためのヒアリングや打ち合わせの仕方、伏せ図の書き方など、テーマ変えて複数回行っている。組合員にとっても、外部発注とは違い、顧客からの要望にきめ細やかに対応することができるプレカット工場を持っていることが大きな強みとなっている。

今後の展望をお聞かせください。

現在、木造住宅の建築現場では、施工期間の短縮やコストの低減を図るため、プレカットの利用が一般化しており、在来軸組工法にとってプレカットは無くてはならない存在となっている。そんな流れの中で、当工場はプレカットにおける天竜地域のシンボリック存在であり続けたい。組合員には天竜地域の大手の木材流通事業者や製材工場があり、天竜材の活用を推進している。天竜材を活かす在来軸組の伝統工法にも対応できるプレカット工場として、当組合の技術力・提案力をPRし、組合員数を増やし、地場のシェアを拡大することで、天竜材推進の一翼を担いたい。



技術的な提案により実現したトラス架構



天竜地域の林業、木材業振興への熱意を語る
桔川茂光 専務理事

取材日：令和7年9月16日

天竜木材産地協同組合
天竜プレカット事業協同組合

理事長 高林秀行
静岡県浜松市天竜区船明2661
TEL. 053-925-6311 FAX. 053-925-6371
Mail : t.p-arch.s.r@ny.tokai.or.jp
会社設立：1984年6月
事業内容：在来軸組工法プレカット、金物工法プレカット
組合員数：18者
従業員数：23人
年間売上高：2億3千万円（2024年度）
許認可等：二級建築事務所（静岡県知事登録第8437号）、しずおか優良木材製品生産認定工場（第33号）
URL：<https://tenryuprecut.com/>



社員大工による手刻みの作業場

発行：静岡県木材協同組合連合会